

2019年度WAM助成募集説明会（WAM助成セミナー）

# 事業計画立案時のポイント紹介



独立行政法人福祉医療機構

NPOリソースセンター

NPO振興課

# 事業計画立案時のポイント紹介

## 募集要領上の審査項目

審査項目	確認項目	内容
(1) 事業実施体制	活動実績・財務状況	・これまでの活動実績・財務状況から事業を実施できる組織基盤はあるか
	実施者適正、連携・協働	・法人又は団体（以下「法人等」という）設立の趣旨、活動実績、実施体制、専門性等、助成対象事業の実施主体として相応しいか ・他の団体や関係機関、関係者等との連携・協働に有効性や実効性があるか
(2) 事業の目的、内容等の妥当性	事業の目的及び内容	・助成対象事業の目的及びその必要性が明確であるか ・具体性があり実現可能性があるか ・「地域の多様な社会資源を活用し、複数の団体が連携やネットワーク化を図るもの」又は「全国又は広域的な普及・充実等を図るもの」となっているか
	計画の妥当性及び助成の成果	・事業計画に整合性、実現性、実効性はあるか ・助成対象事業の量的な目標からみて効果をあげられるか、受益者や関係者のニーズを満たし質的な効果をあげられるか ・助成対象事業の成果が地域や社会に波及することが期待できるか
(3) 費用対効果	経費の妥当性	・経費の過剰積算、著しく高い単価の経費が無い
	経費の合理性	・費用対効果からみて経済的合理性があるか
(4) 自立的継続性・将来発展性	自立的継続性・将来発展性	・事業継続の能力があり、将来的な発展性が期待できるか
	助成の意義	・独創性、先駆性、普遍性、社会的必要性等が期待できるか

# 8つの視点で再確認 事業計画チェックシート

## WAM助成 事業計画チェックシート

～応募を検討している事業計画について、以下の8つの視点から再確認するためのシートです～

●手順：事業計画の内容について1～8の設問に箇条書き（簡潔に）で回答を作成 → 回答した内容が応募用紙に盛り込まれているかを確認

実 施 体 制	<p>■団体の実績・強みは計画にどのように活かされていますか</p> <p>1</p>	<p>■団体のビジョンと計画がどのようにつながっていますか</p> <p>2</p>	<p>■効果的な連携をどのように行う予定ですか</p> <p>3</p>
事 業 計 画	<p>■実現可能性はどのように表せていますか</p> <p>4</p>	<p>8つの視点が 応募用紙に盛り込まれていますか？</p>	<p>■継続性・発展性は具体的にどのように描いていますか</p> <p>5</p>
事 業 成 果	<p>■関係機関にとっての必要性・価値は何ですか</p> <p>6</p>	<p>■支援対象者にとっての必要性・価値は何ですか</p> <p>7</p>	<p>■地域・社会にとっての必要性・価値は何ですか</p> <p>8</p>

〔その他〕

■ 妥当性や合理性のある経費の積算となっていますか

（※各視点は募集要領5、審査項目の一部を抜粋しています。上記以外の項目については、募集要領「5. 審査項目」をご確認ください）

### POINT

応募用紙で具体的なイメージを伝えることが難しい事項を抜粋

# 計画を立案する際の参考資料は・・・？

▶HP掲載済の「事業計画チェックシート」をご活用ください

**事業計画チェックシート**

事業名 \_\_\_\_\_ 団体名 \_\_\_\_\_

事業概要(〇〇することを目的に、●●する事業) \_\_\_\_\_ 前回の助成事業の実施状況と成果(実施内容、参加人数等) \_\_\_\_\_

<p><b>① 活動をはじめた経緯(団体の沿革)</b></p> <p>これまでの活動実績・財務状況から事業を実施できる組織基盤はあるか</p> <p>※ 活動を始めた経緯や法人の設立経緯・沿革を、今回の要望事業とのつながりがわかるように記載</p>	<p><b>② 直近3年間の主な活動実績とその財源</b></p> <p>※ 活動の財源(事業収入・助成金・補助金・協賛金等)を併せて記載</p>	<p><b>③ 現状と課題(助成事業の背景にある現状と課題)</b></p> <p>助成対象事業の目的及びその必要性が明確であるか</p> <p>※ 支援対象者や地域社会の課題の原因や解決策を踏まえて記載</p>
<p><b>④ 具体的な事業内容</b></p> <p>事業内容に具体性があり実現可能性があるか</p> <p>(例) 1. 柱立て名称 ①目的 ②内容 ③日時 ④場所 ⑤対象者 ⑥実施体制</p>	<p><b>⑤ 単年度の事業目標</b></p> <p>&lt;実施目標&gt; 量的な目標からみて効果をあげられるか</p> <p>&lt;実施目標&gt; ※(例)柱①研修会目標・参加者80名、柱②居場所開催目標:週3回/利用者のべ900名</p> <p>&lt;成果目標&gt; 受益者や関係者のニーズを満たし、質的な効果を上げられるか、成果が地域や社会に波及するか</p> <p>&lt;成果目標&gt; ※ 実施目標の達成による成果(対象者や地域社会の変化)及び変化の確認方法(指標・測定方法等)</p>	<p><b>⑥ 事業の将来的な構想</b></p> <p>&lt;中期的展望&gt; 将来的な発展性が期待できるか</p> <p>&lt;終了後の展望&gt; ※ 本事業の実施により、中期的に達成したい目標・対象者や地域社会に期待される効果</p> <p>&lt;事業継続&gt; 事業継続の能力があるか(資金・人材確保等)</p> <p>&lt;事業継続に関する計画&gt; ※ 助成事業終了後の事業継続に向けた体制(資金や人材の確保等)</p>

**■その他の確認項目**

- ☆ 他団体や関係機関、関係者などとの連携・協働に有効性・実効性があるか
- ☆ 事業計画に整合性、実現性、実効性はあるか
- ☆ 独創性・先駆性、普遍性、社会的必要性等が期待できるか
- ※ なお、経費の妥当性・合理性については、「助成金額調書」で確認

**POINT 1**  
各項目の連なりを俯瞰して把握できる

**POINT 2**  
審査の視点を各設問に併記

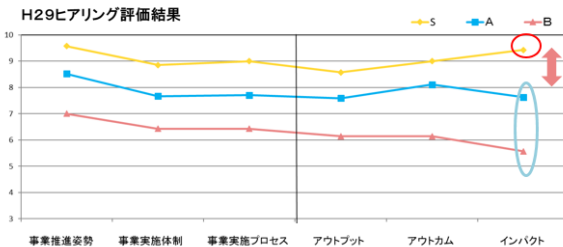
# 事業評価からみえてきた 審査の視点



2019年1月末にHPへ掲載予定

## (1) 評価項目別結果

ヒアリング評価を実施した41件に対し、「プロセス評価」と「成果評価」（それぞれ3項目）の評価項目別の配点を評価結果（S～B）別に比較しました。なお、C・D評価は0件でした。



評価の視点	プロセス評価			成果評価		
	事業推進姿勢	事業実施体制	事業実施プロセス	アウトプット (事業実績)	アウトカム (直接的成果)	インパクト (社会的成果)
・明確な理念を持っているか	・団体内のガバナンス体制、実施体制、専門性の確保	・効果的、効率的、経済的な手法で実施できたか	・予定した事業成果を生んだか	・利用者のニーズを満たしたか	・利用者へのニーズを把握し、成果を上げられたか	・成果によって地域や社会に与えたインパクト
・意欲、積極性は十分だったか	・外部資源の活用、連携はできたか	・利用者等の評価を確認し、継続的な改善を行ったか	・量的な指標を達成できたか			・成果の他地域への広がり

## 結果

全体の結果では「プロセス評価」と「成果評価」の得点が概ね相関していました。

また、S評価事業と他の評価事業を比較すると、特に「インパクト」の項目で差が生じていました。

S評価事業は短期間での達成が難しいインパクト（社会的成果）の項目で成果が出たことで総合的に高い評価につながっている傾向がありました。

### ① プロセス評価の「評価できる点」及び「課題・改善点」

事業推進姿勢	事業実施体制	事業実施プロセス
<ul style="list-style-type: none"> <li>「制度の取組」や「制度が対応しづらい領域」への対応が評価された</li> <li>「地域づくりの取組」が評価された</li> <li>事例の「ニーズ把握」や「調査に基づく計画」が評価を左右した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部部局では、「専門職の配置」や「スタッフ研修の実施」、外部部局では「協力を活かした多機関・多職種連携」が評価された</li> <li>福祉分野以外の企業との支援体制構築や行政・社会との連携を重視</li> <li>地元企業との就労支援体制構築が評価を左右した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「事業の組み合わせによる効果効果」や「対象者の状況に応じた支援提供」が評価された</li> <li>「行政との情報共有」に課題がみられた</li> <li>事業評価の支援を進めた「成果の可視化」の実績が評価を左右した</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価できる点</li> <li>制度の取組への対応</li> <li>制度が対応しづらい領域を対象</li> <li>地域づくりの取組</li> <li>取組の地域資源の活用</li> <li>行政調査に基づく事業計画</li> <li>将来を見据えた事業計画（政策調査や特定NPO法人を担うなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価できる点</li> <li>専門職の配置</li> <li>スタッフの専門性の向上</li> <li>協力を活かした多機関・多職種連携</li> <li>福祉分野以外の企業との支援体制構築</li> <li>行政・社会との連携を重視</li> <li>地元企業との就労支援体制構築</li> <li>財務確保を目的とした自主的な運営体制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価できる点</li> <li>事業の組み合わせによる効果効果</li> <li>対象者の状況に応じた支援提供</li> <li>行政との情報共有</li> <li>当事者への継続的なサポート</li> <li>当事者の事業への参加の促進（当事者組織の広がり・共有など）</li> <li>数値化しづらい効果の把握化</li> <li>評価項目を踏まえたい評価アンケート</li> <li>支援の実情を提示した活動報告書</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>課題・改善点</li> <li>計画段階での成果目標が不明確</li> <li>実施目標が不明確（対象者、地域、継続、期間、方法など）</li> <li>当事者ニーズが起点でない</li> <li>ニーズ把握不足</li> <li>地域の理解不足</li> <li>規模が小さく、広がりがみられない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題・改善点</li> <li>財務確保</li> <li>研修参加者のスタッフ採用の検討</li> <li>地域の活動主体を形成する後方支援</li> <li>連携が前定的</li> <li>福祉分野以外の協力体制構築</li> <li>企業との効果的支援に関する取組の喚起</li> <li>行政・社会との包括的支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題・改善点</li> <li>行政との定量的な情報共有</li> <li>数値化に向けた目標設定</li> <li>ニーズの数値化</li> <li>実績の効果測定による改善</li> <li>専門員による事業評価</li> <li>利用者の変化の把握、発信</li> <li>成果物（報告書、動画）の公開</li> <li>実情を提示した活動報告書</li> </ul>

### ② 成果評価の「評価できる点」及び「課題・改善点」

アウトプット (事業実績)	アウトカム (直接的成果)	インパクト (社会的成果)
<ul style="list-style-type: none"> <li>「目標値の達成状況」が評価を左右した</li> <li>「支援を届けたい層へのリーチ」が評価を左右した</li> <li>「対象者の広がり」が評価を左右した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「一人ひとりの状況に即した対応」や「対象者の主体性を尊重する支援」が評価された</li> <li>「対象者の総合的なニーズへの対応」や「経済的自立に向けた継続支援」が今後の課題として挙げられた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「制度化・モデル事業化」「行政からの事業受託」が評価された</li> <li>「分野横断的ネットワーク構築」や「他地域展開」の取組が評価された</li> <li>「政策化に向けた行政との対話」や「働きかけ経路」として挙げられた</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>評価できる点</li> <li>目標値達成</li> <li>参加者数の上昇</li> <li>新たな対象者へのリーチ</li> <li>届いた層への個別支援</li> <li>アンケート等による実績把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価できる点</li> <li>＜対象者の意識・行動の変化＞</li> <li>生活習慣が身に付き、意欲が醸成</li> <li>自分を客観的に捉え、前向きに自覚し、支援を受け入れられるようになる</li> <li>自傷喪失を軽減（自己肯定感の回復）</li> <li>他者を支えられている感覚の醸成</li> <li>社会的自立や就労につながる</li> <li>一人ひとりの状況に即した対応</li> <li>対象者の主体性を尊重する支援</li> <li>＜地域の新たなネットワーク構築＞</li> <li>農業や地元企業等との異業種連携</li> <li>医療や福祉の専門機関の相互連携</li> <li>地域住民による見守り体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価できる点</li> <li>制度化・モデル事業化</li> <li>行政からの事業受託</li> <li>分野横断的ネットワーク構築</li> <li>クラウド化や数値化していく成果目標の作成等の他地域展開</li> <li>他機関や団体等からの問合せ</li> <li>行政・企業との継続的な実施</li> <li>成果の普及による協力の増加</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>課題・改善点</li> <li>目標未達成</li> <li>利用が低調、費用対効果に懸念</li> <li>届いた層への支援が限定的</li> <li>希望者の層内への対応</li> <li>目標の根拠が不明確</li> <li>設定した目標の妥当性の未確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題・改善点</li> <li>対象者の総合的なニーズへの対応</li> <li>経済的自立に向けた継続支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題・改善点</li> <li>政策化に向けた行政との対話</li> <li>企業や報道機関への働きかけ</li> <li>自治体との目標・ビジョンの共有</li> <li>今後の事業基盤の構築</li> <li>成果物のHP公開等の発信</li> <li>成果報告書の更なる活用</li> </ul>

# 審査項目：事業実施体制

## (1) 事業実施体制

### ■ 評価できる点

- ① 当事者への継続的なサポート体制を有する
- ② 必要に応じ、スタッフの研修が計画に盛り込まれている
- ③ 多機関・多職種との強みを活かした連携体制が確保されている
- ④ 福祉分野以外の異業種との相互連携が行われている
- ⑤ 既存の地域の資源を活用又は、団体の組織力や経験を生かす取組である

### ■ 課題・改善点

- ① 助成事業の実施に必要な専門性が確保されていない
- ② 連携先との具体的な役割分担や情報共有の方法が検討されていない
- ③ 連携先が限定的で事業の広がりが少ない

審査項目：

# 事業の目的、内容等の妥当性

## (2) 事業の目的、 内容等の妥当性

### ■ 評価できる点

- ① 制度の狭間や制度が対応しづらい領域への支援である
- ② 事前の調査やニーズ把握に基づく事業計画である
- ③ これまでの事業実績と比較し、計画に実現可能性が期待できる
- ④ 複数の事業の柱の組み合わせによる相乗効果が期待できる
- ⑤ 成果の可視化に向けた取り組みに意欲的である
- ⑥ 社会啓発や政策提言等が事業計画に含まれている

### ■ 課題・改善点

- ① 成果のイメージや目標が不明確（対象者/地域/頻度/期限/方法等）
- ② 対象者のニーズや地域の特性の理解が不足している
- ③ 規模が小さく、団体に関わりのある対象者に限定されている
- ④ 事業計画が当事者ニーズを起点としていない
- ⑤ 事業の組み立てに工夫がみられず、問題解決に向けた掘り下げが深くない

# 審査項目：費用対効果

## (3) 費用対効果

### ■ 評価できる点

- ① 予算額と比較し、対象者数や対象者層の規模に妥当性がある
- ② 支援を届けたい対象者に対し、効率的かつ確実なリーチが期待できる
- ③ 幅広い対象者を網羅的に支援している

### ■ 課題・改善点

- ① 予算と比較し、数値目標が低く設定されている
- ② 地域・社会への波及効果が期待できない



審査項目：

# 自立的継続性・将来発展性

## (4) 自立的継続性 ・将来発展性

### ■ 評価できる点

- ① 財源確保を含めた自立的な体制整備の構想に具体性がある
- ② 事業終了後も行政や企業等との継続的な連携を図る意向がある
- ③ 連携先との分野横断的なネットワークの構築が期待できる
- ④ 他地域への事業展開が期待できる
- ⑤ 制度化・モデル事業化につながることを期待できる

### ■ 課題・改善点

- ① 事業成果の普及や政策提言に取り組む構想がない
- ② 将来を見据えた計画について、実現可能性が期待できない

# WAMリソースをご活用ください

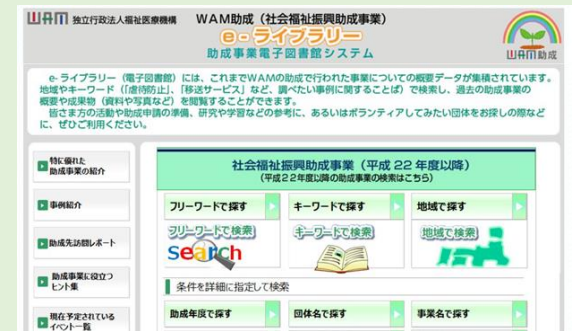
## ■ 過去の優良事例を掲載



WAM助成レポート  
(本日配布)

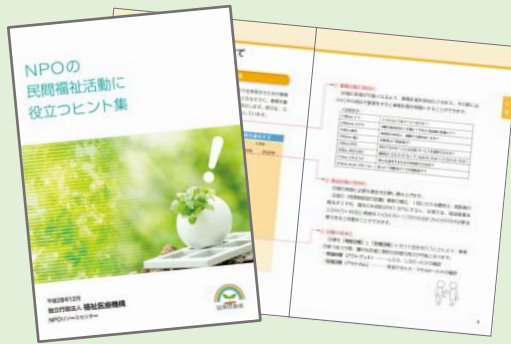


事業評価報告書(平成29年1月)  
(本日配布)



電子図書館 (e-ライブラリー)  
(WAMホームページ)

## ■ 事業計画立案時のヒントを掲載



NPOの民間福祉活動  
に役立つヒント集  
(WAMホームページ)



資金調達セミナー  
(2017) 開催報告  
(WAMホームページ)

## ■ 事業継続・資金調達・連携・評価のヒントを掲載



WAM助成フォーラム  
(2017) 開催報告  
(WAMホームページ)



WAM助成シンポジウム  
(2018) 開催報告  
(WAMホームページ)